

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.06.06)

文：武田 写真；坂井、寺田

日時：2024(令和6)年6月6日(木) 9:30～15:00

気象：晴

活動エリア：44 林班い

活動内容：地域環境保全(里山林保全、林床整備)

参加者(会員) 石田美和、斧田一陽、工藤貴士倉谷邦雄、坂井祥郎、佐々木一雄、平 真美、武田壽夫、  
寺田昭弘、原 剛史、当山清之、宮本 廣 会員12名

### <蟻螂生>

読みは「とうろうしょうず」、七二候でカマキリが初めて姿を見せる時期とある。活動中、まだお目にかかれないが、森林づくりは今日から天狗杉の西。本山寺山山頂部(WL625m)の南斜面の整備に着手。一帯は6年前の台風21号による倒木にその後、力尽きて倒れた木々が散見され、傾斜地で足元剣呑な場所である。


足元不如意の二名は小屋の整理。退会された方々のヘルメットや作業靴を小屋から運び出し、収蔵箱に移す。+小屋近くで採取した桜の若木4本の移植。「44-い」の作業は秋口までを予定)



### <今日の成果>

倒木処理は大中合せて6ホ、掛り木2本、林床は二ヶ所合せて30×20=0.06haを整備。帰りの木段部で落葉を踏み外し「オツと尻餅」のヒヤリハットなど。

### <閑話休題>本山寺 昔ばなし(右 蒲萄硯と左 伺向雁石=盆石)

	<p>(本山寺の)什宝、蒲萄硯(硯面に蒲萄の彫物あり。長さ一尺一寸五分、巾七寸五分、初めは足利東山殿所持。伺向雁石(盆石なり 石の形をもって名とす。高さ四寸、横九寸。この二品は松永弾正久秀当郡東五百住に在城し、当山毘沙門天に帰依し、霊夢を蒙り、武門の名誉をとれり。これによって荘園を寄付し、この家宝の二器を率収せり。 (摂津名所図会による 東五百住は現高槻市東五百住の住宅地)</p>
<p>高槻歴史 Web (市文化財課) より</p>	

<写真編>

<倒木処理前の南斜面>



<玉きり、棚積みに奮戦中>



<上写真の作業後>



<足元スッキリの頂上尾根部>

